

## 平成31年度自己評価結果

### 1、 本園の教育目標

人を愛する優しい心、よく考える力、たくましい体づくりを目標に、キリスト教を基本とする愛の保育を行っている。‘あそび’を大切にとらえ、一人一人の個性を大切にしつつ、協調性や創造性を育み、目には見えない心の教育を通して‘生きる力’を養う幼児教育を目指している。

### 2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、キリスト教を基本とする本園の特色を生かした保育を進めていく。一人一人の子どもを大切にして質の向上に努め保育観と子ども理解を深めていく。

### 3、 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園に求められる社会的なニーズの変化を把握し、本園がどのように社会ニーズに答えていけるのか、話し合った。</li> </ul>
宗教的要素を基本として、保育観や子ども理解を進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のクラスでの礼拝で、神様を知り、自分は愛されている存在である喜びを十分に味わい、安心して日々を過ごせた。</li> <li>・幼児の発達の姿をとらえるための研修に意欲的に参加し、教職員間でも子どもの姿について話し合い学びを共有する機会をもった。</li> </ul>
地域との連携や保護者のニーズの把握に努め、適切な対応をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事に参加して交流を深め、子どもたちが地域の一員として育ててもらえるよう機会をもった。</li> <li>・安全教室や防災教室を行い、教職員及び子ども達の安全意識を高めていくことができた。</li> <li>・保護者の要望については引き続き行事への参加や手伝い等、園との協力をお願いした。</li> </ul>

#### 4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人一人の子どもを大切にした教育を実践することができた。又、職員会や教職員の意見交換の場を設けるように努め、改善点を含む話し合いができた。そして、さらなる質の向上に向けた課題も明確になった。

#### 5、 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
環境	園庭や室内の環境やおもちゃについて話し合い、遊びが充実していけるように環境の構成に取り組む。
安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの見直しを図る。
幼少連携	小学校と連携を行い「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接続を図る。

#### 6、 学校関係者の評価

子どもたちがのびのびと遊び豊かな環境で自分を表現しつつ園生活を過ごしている様子が見られた。園の教育目標のもと、一人一人を大切にしたい保育がなされ子どもを中心に園づくりを考えようとする様子が伺える。特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められるので今後も期待して園の成長を確認していきたい。

#### 7、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。